

## 除草剤

# ゴゴサン<sup>®</sup> 細粒剤F

<sup>®</sup>=BASF社の登録商標

除草剤分類 **3**

有効成分

ペンディメタリン(PRTR・1種) …… 2.0%

登録番号：第16458号

性 状：黄色細粒及び微粒  
180～710 $\mu$ m

毒 性：普通物\*

有効年限：3年

包 装：3kg×8袋  
10kg×2袋



\*普通物：毒劇物に該当しないものを指している通称

## ■特長

- 雑草発生前の土壌処理でイネ科・広葉雑草を同時に防除します。
- 雑草の発生を40～60日間と長期間抑制します。
- 見かけ比重が大きいので風に飛ばされることが少なく、均一に散布ができます。

## ■適用雑草と使用方法

(2022年5月25日現在)

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量	本剤の使用回数	使用方法	ペンディメタリンを含む農薬の総使用回数
麦類	一年生雑草	は種後出芽前 (雑草発生前)	5～6kg /10a	1回	全面土壌散布	1回
陸稲			4～6kg /10a			
にんじん			4～5kg /10a			
ソルガム			4～6kg /10a			
とうもろこし 飼料用 とうもろこし			5～6kg /10a			
らっかせい			5kg/10a			
パセリ						

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量	本剤の使用回数	使用方法	ペンディメタリンを含む農薬の総使用回数												
さといも	一年生雑草	植付前(雑草発生前)	4~6kg /10a	1回	全面土壌散布	2回以内 (土寄せ後の処理は1回以内)												
		植付後萌芽前(雑草発生前)																
		土寄せ後(雑草発生前)但し、収穫60日前まで																
ばれいしょ(マルチ栽培を除く)		植付後萌芽前(雑草発生前)	4~5kg /10a			1回	全面土壌散布	1回										
ばれいしょ(マルチ栽培)		植付後マルチ前、但し、萌芽前まで(雑草発生前)																
キャベツ		定植前又は定植後~定植翌日(雑草発生前)																
はくさい レタス 非結球レタス		定植前(雑草発生前)	4~6kg /10a						1回	全面土壌散布	1回							
アスパラガス		萌芽前(雑草発生前)																
にんにく		植付前(マルチ前)																
		植付後(雑草発生前)但し、収穫60日前まで																
たまねぎ(春播栽培)		定植後(雑草発生前)但し、収穫30日前まで	5~6kg /10a									1回	全面土壌散布	1回				
たまねぎ(秋播栽培)		定植後又は生育期(雑草発生前)但し、収穫30日前まで																
たまねぎ(秋播マルチ栽培)		定植前(マルチ前)																
ねぎ		定植後(雑草発生前)但し、定植10日後まで	4~6kg /10a												1回	全面土壌散布	1回	
しょうが		植付後萌芽前(雑草発生前)																
こんにゃく	植付後又は培土後(雑草発生前)但し、植付30日後まで	5~6kg /10a	1回	全面土壌散布	1回													
みしまさいこ	は種後~発芽期又は萌芽期(雑草発生前始期まで)	3~5kg /10a																
桑	春期発芽前又は夏切り後(雑草発生前)	5~6kg /10a																2回以内
チューリップ	植付後萌芽前(雑草発生前)	4~6kg /10a				1回	全面土壌散布	1回										
きく	定植後(雑草発生前)																	
つつじ類	生育期(雑草発生前)																	
ヤングコーン	は種後出芽前(雑草発生前)	5~6kg /10a							1回	全面土壌散布	1回							
葉たまねぎ	定植前(マルチ前)																	

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量	本剤の使用回数	使用方法	ペンディメタリンを含む農薬の総使用回数
葉にんにく	一年生雑草	植付前(マルチ前)	4~6kg /10a	1回	全面 土壌 散布	1回
		植付後(雑草発生前) 但し、収穫60日前まで				
いぐさ		畑苗床での定植後 (雑草発生前) (入水15日前まで)	4kg/10a			
うど		定植後萌芽前(根株養成圃) (雑草発生前)	5kg/10a		畦間 土壌 散布	2回以内 (畦間処理は 1回以内)
	生育期(根株養成圃) (雑草発生前) 但し、収穫60日前まで					

## ⚠ 効果・薬害等の注意事項

- 使用量に合わせ秤量し、使いきってください。
- 本剤は雑草の発生前～発芽時に有効ですが、雑草の生育が進むと急激に効果が低下するので、使用時期を失しないように散布してください。
- 本剤はイネ科および広葉の一年生雑草に効果がありますが、キク科雑草とツユクサには効果が劣るので、これらの雑草の優占圃場では使用しないでください。
- 土壌が極端に乾燥している場合は効果が劣るので、土壌が適度の水分を含んでいるときに散布してください。
- 砕土、整地はていねいに行い、は種後に使用する場合は、種子が露出しないように覆土はできるだけていねいに行い、覆土深を2~3cm以上としてください。
- 砂土では使用しないでください。
- はげしい降雨が予想される時には使用をさけてください。またキャベツに使用する場合、散布後2~3日間は大量の灌水はしないでください。
- キャベツのセル成型苗には薬害が発生するおそれがあるので、使用をさけてください。
- はくさい、レタスおよび非結球レタスで使用する場合、極端な浅植えや深植えに定植したセル成型苗には薬害を生じるおそれがあるので注意してください。
- 水田裏作の麦に使用する場合、排水不良の畑では使用をさけてください。
- ソルガムに使用する場合、覆土深は3cm以上としてください。また散播では使用しないでください。
- 本剤はマルチ栽培のとうもろこしに薬害を生じるおそれがあるので使用しないでください。
- きくの品種、栽培条件などによっては黄化、抑制等の薬害を生じるおそれがあるので、本剤を初めて使用する場合は、事前に薬害の有無を十分確認してから使用してください。
- うどで畦間土壌散布を行う場合、作物にかかると薬害を生じるおそれがあるので、かからないように使用してください。

- 重複散布すると薬害のおそれがあるので、まきむらのないように均一に散布してください。
- 本剤は衣服や自動車、壁などの塗装面に触れると変色するおそれがあるので、接触させないように注意してください。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には病虫害防除所等関係機関の指導を受けてください。
- 適用作物群に属する作物又はその新品種に本剤を初めて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用してください。なお、病虫害防除所等関係機関の指導を受けてください。

## ⚠ 安全使用上の注意事項

- 本剤は皮膚に対して弱い刺激性があるので皮膚に付着しないよう注意してください。付着した場合には直ちに石けんでよく洗い落としてください。
- 散布の際は農薬用マスク、不浸透性手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用してください。作業後は手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをしてください。
- 街路、公園等で使用する場合は、散布中および散布後(少なくとも散布当日)に小児や散布に関係のない者が散布区域に立ち入らないよう縄囲いや立て札を立てるなど配慮し、人畜等に被害を及ぼさないよう注意を払ってください。

**保 管**…直射日光をさけ、なるべく低温で乾燥した場所に密封して保管してください。

さらに詳しい製品情報はこちらから

※QRコードを読み込む、  
またはクリックしてください。

